

**第18単元 角柱と円柱①**

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて			
①	40 (各5)		[知技]角柱の構成要素の数を理解している。	立体模型、見取図、展開図などを基に、側面の数、頂点の数、辺の数を考えさせる。			
					側面の数	頂点の数	辺の数
		三角柱			3	6	9
		四角柱			4	8	12
		五角柱			5	10	15
六角柱	6	12	18				
②	① 20 ② (各10)	(略)	[知技]角柱や円柱の見取図をかくことができる。	立体模型などと比べながら、見取図に必要な線を確認する。			
③	① 5	面FGHJK	[知技]角柱の辺や面の位置関係を理解している。	立体模型を提示し、辺と辺、辺と面、面と面の関係をとらえさせる。			
	② 5	5つ					
	③ 15 (各3)	辺AF、辺BG、辺CH、 辺DJ、辺EK (順不同)					
④	① 5	4 cm	[知技]円柱の展開図で、円柱の高さや側面の横の長さを考えることができる。	側面の縦の長さが円柱の高さ、側面の横の長さが底面の円周と同じ長さになることを、展開図を組み立てる操作からとらえさせる。			
	② 10 (各5)	式 $5 \times 3.14 = 15.7$ 答 15.7cm					

**第18単元 角柱と円柱②**

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① ㊦      ② ㊧	[思判表]立体の特徴を調べる視点をとらえている。	実際に立体模型などを使って、面や辺を意識させ、特徴を理解させる。
	③ ㊨      ④ ㊩		
②	① ●      ② ■	[思判表]四角柱の見取図と展開図を対応させて面をとらえている。	向かい合う面は、展開図ではとなりのとなりになることに気づかせる。それでもとらえられない児童には、実物を示して考えさせる。
	③ ■      ④ ▲		

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	6問以上	5～3問	2問以下

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。